

# 年間指導計画作成手順

STEP1

STEP2

STEP3

## 第5学年 年間指導計画（1学期）

| 単元名<br>(時数)                                 | 単元の目標  | 重点領域<br>CAN-DOリスト<br>対応項目            | 言語活動  | 観点別評価規準   |   |   |
|---|--|--------------------------------------|---|---|---|---|
|   |  |                                      |   | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
| Unit 1<br>Hello, friends.<br>(8)            | 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて聞き取ったり、考えや気持ちなどを伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの活字体の読み方を発音したり、書いたりすることができる。<br><br>※なお、本単元における「読むこと」「書くこと」については、目標に向けた指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。 | 聞くこと<br>ア<br><br>話すこと<br>[やり取り]<br>イ | 教員とALTの自己紹介から、名前や好きなものなどを聞き取る。<br><br>学級の友達と、名刺カードを示しながら名前や好きなものなどを尋ね合い、自己紹介を行う。              | 〔知識〕<br>きやスポーツ、食べ物などを表す語句や How do you spell your name? I'm ~. I like ~. What ~ do you like? の表現について理解している。<br><br>〔技能〕<br>名前や好きなものについて、上記の語句や表現を聞き取る技能を身に付けている。<br><br>名前や好きなものについて、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。                        | ①相手のことをよく知るために、名前や好きなものについて聞き取っている。<br><br>②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて、考えや気持ちなどを伝え合っている。           | ①相手のことをよく知るために、名前や好きなものについて聞き取ろうとしている。<br><br>②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなものについて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。           |
| Unit 2<br>When is your birthday?<br>(8)     | 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取ったり、考えや気持ちなどを伝え合ったりすることができる。  | 聞くこと<br>イ<br><br>話すこと<br>[やり取り]<br>イ | 教員とALTのやり取りから、誕生日や欲しいものなどの具体的な情報を聞き取る。<br><br>学級の友達と、誕生日や欲しいものなどを尋ね合う。尋ね合ったことを基にパスデーカードを作成する。 | 〔知識〕<br>日や日付、身の回りのものなどを表す語句や When is your birthday? My birthday is ~. What do you want for our birthday? I want ~. の表現について理解している。<br><br>〔技能〕<br>誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。<br><br>誕生日や欲しいものについて、上記の語句や表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 | ①相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取っている。<br><br>②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、考えや気持ちなどを伝え合っている。 | ①相手のことをよく知るために、誕生日や欲しいものについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。<br><br>②自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、誕生日や欲しいものについて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 |
| Unit 3<br>What do you want to study?<br>(8) | 自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科ややりたい職業について、話すことができる。  | 話すこと<br>[発表]<br>ア                    | オリジナルの時間割を作成し、学びたい教科ややりたい職業などをグループの友達に発表する。   | 〔知識〕<br>日や教科、職業などを表す語句や What do you want to study? I want to study ~. What do you want to be? I want to be ~. の表現について理解している。<br><br>〔技能〕<br>学びたい教科ややりたい職業について、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。   | ③自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科ややりたい職業について、話している。   | ③自分のことをよく知ってもらうために、学びたい教科ややりたい職業について、話そうとしている。  |
| パフォーマンステスト1<br>(2)                          | 上に同じ   | 上に同じ                                 | 同様の発表を学級全体の前で行う。  | ※本計画では、パフォーマンステスト1をUnit3と関連付けているが、学校の実態に応じ、他の単元と関連付けたり、Unit1～3の内容を総合したりして実施することが考えられる。  |   |   |

### STEP 1 CAN-DOリストと使用教科書から単元の目標と重点領域を設定する

学習到達目標をCAN-DOリストで確認し、使用教科書と関連付けて、単元の目標を決める。年間を通じて五つの領域の到達目標が網羅されるように、重点領域とCAN-DOリスト対応項目を各単元に割り振る。

※ ただし、「読むこと」「書くこと」については、指導の初期段階では記録に残す評価を行わない。また、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」については、学級担任やALTと条件をそろえた形で行えるように、学期に1回程度のパフォーマンステストを設定する。

### STEP 2 単元の目標を達成するための言語活動を考える

目的や場面、状況などを設定した言語活動の大まかな内容を考える。なお、1つの単元で2つの領域を重点とする場合は、それぞれの領域に対応する言語活動を考える。

### STEP 3 観点別評価規準を決める

「知識・技能」については、扱う言語材料が分かるように記載する。

「思考・判断・表現」については、単元の最終の言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況などが分かるように記載する。

「主体的に学習に取り組む態度」については、「思考・判断・表現」に記載した内容を「～しようとしている」と変えて記載する。